

平成27年度

定例監査報告書

坂町監査委員

西本 昭孝
奥村富士雄

1 監査の対象

平成27年4月1日から平成27年9月30日までの一般会計並びに各特別会計予算の執行状況

2. 監査実施期間

平成27年11月2日から11月26日まで（監査実施日数12日間）

3. 監査の主眼

事務事業は予算に基づいて計画的、効果的かつ経済的に執行されているか、という点を主眼において監査した。具体的には、次の項目に重点をおいて監査した。

- (1)歳入予算の財源把握は適正であるか。
- (2)歳出予算は、適正な事業計画のもとに効果的に執行され、かつ不当な支出はないか。
- (3)課毎の事務分掌は明確に記載され、実施されているか。

- (4)各種補助金の交付は交付先及び金額とも適正であるか。
- (5)財産の管理は台帳・残高証明書などで適正に行われているか。
- (6)事業執行に伴う契約締結は適正に行われているか。
- (7)工事の計画・契約・施工・完了確認は適正に行われているか。
- (8)関係諸帳簿、証書類の記帳整理は適正に行われているか。

4. 監査の結果と意見

(1) 予算執行状況の概要

下表のとおり

◇歳入

※（ ）内は前年同期の数値

① 一般会計

(ア)町税の収入状況と意見
町税は、予算現額23億5千850万6千円、調定額22億2千560万7千円、収入済額14億3千470万4千円、不納欠損額0円、収入未済額7億9千900円、収入未済率33.1%（前年33.1%）で、対調定収入率96.9%（前年96.9%）である。

予算執行状況の概要

(単位：千円)

会 計 項 目	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入割合	
						予算	調定
一 般 会 計	5,952,539	4,050,699	2,926,676	0	1,124,023	49.2%	72.3%
現 年 分 (繰越明許)	5,677,034 275,505	3,780,612 270,087	2,656,589 270,087	0 0	1,124,023 0	46.8% 98.0%	70.3% 100.0%
国 民 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計	1,860,177	1,550,839	798,140	0	752,699	42.9%	51.5%
下 水 道 事 業 特 別 会 計	824,230	289,505	273,138	0	16,367	33.1%	94.3%
現 年 分 (繰越明許)	675,171 149,059	214,964 74,541	198,597 74,541	0 0	16,367 0	29.4% 50.0%	92.4% 100.0%
介 護 保 険 事 業 特 別 会 計	1,304,686	1,095,436	561,085	0	534,351	43.0%	51.2%
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	165,090	132,096	71,829	0	60,268	43.5%	54.4%

(単位：千円)

年 度	予算現額 A	支出負担行為額 B	支出済額 C	予算残額 A-B	執行率	
					B/A	C/A
一 般 会 計	5,952,539	2,469,172	2,094,919	3,483,367	41.5%	35.2%
現 年 分 (繰越明許)	5,677,034 275,505	2,271,530 197,643	1,915,197 179,722	3,405,504 77,862	40.0% 71.7%	33.7% 65.2%
国 民 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計	1,860,177	844,379	786,459	1,015,798	45.4%	42.3%
下 水 道 事 業 特 別 会 計	824,230	486,392	447,735	337,838	59.0%	54.3%
現 年 分 (繰越明許)	675,171 149,059	337,340 149,052	298,682 149,052	337,831 7	50.0% 100.0%	44.2% 100.0%
介 護 保 険 事 業 特 別 会 計	1,304,686	502,276	489,060	802,410	38.5%	37.5%
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	165,090	75,225	67,219	89,865	45.6%	40.7%

※表中の数値は平成27年9月30日現在のものである。
また、端数処理の関係で表中の合計や差引が突合しない場合がある。
(以下、同じ)

広報さか

万2千円となっている。対予算収入率60.8%（65.8%）対調定収入率64.5%（65.3%）で、いずれも前年同期を下回っている。

うち滞納繰越分は、予算現額1千230万1千円、調定額8千998万2千円、収入済額719万6千円、不納欠損額0円、収入未済額8千278万6千円となっている。対予算収入率58.5%（41.2%）、対調定収入率8.0%（6.0%）で、いずれも前年同期を上回っている。

税目別の収入状況（現年課税分と滞納繰越分の合算）は次のとおりである。

町民税は、予算現額9億8千879万4千円、調定額8億3千920万9千円、収入済額5億19万5千円、不納欠損額0円、収入未済額3億3千901万5千円となっている。対予算収入率50.6%（62.1%）、対調定収入率59.6%（62.1%）で、いずれも前年同期を下回っている。

入湯税は、予算現額700万円、調定額365万8千円、収入済額365万8千円、不納欠損額0円、収入未済額0円となっている。対予算収入率52.3%（51.7%）、対調定収入率100%（100%）である。

主要な自主財源である町税の徴収成果の良否は、直ちに財政運営に影響をもたらすものであり、財源の確保は、計画的に事業を執行するための不可欠な要件である。尚、徴収事務にかかわる関係職員の努力は十分な評価に値するものであり、引き続き徴収率向上に向けた関係職員の更なる努力を期待するものである。

(イ) 国・県補助金の収入状況と意見

国庫補助金は、予算現額2億5千166万1千円に対し、調定額2千238万2千円、収入済額2千158万2千円、収入未済額80万円となっている。対予算収入率86%（11.6%）対調定収入率96.4%（73.6%）となっている。予算計上に特に問題があるとも思えず、事業の進捗に伴い交付されるものと思われる。

収入未済額648万9千円となっている。対予算収入率0.0%（0.1%）対調定収入率0.0%（6.0%）となっている。予算計上に特に問題があるとも思えず、事業の進捗に伴い交付されるものと思われる。

(ウ) その他の収入状況と意見

一部、国庫支出金・県支出金等で予算計上されながら、現時点で調定されていないものもあるが、今後調定し収入が得られる見込みである。保育所運営費保護者負担金（民生費負担金）、住宅新築資金貸付（貸付金元利収入）の滞納徴収については、十分に努力されているが、収納率向上に向け、このまま現状の徴収方法を続けるのか、差し押さえ等の法的手続きを執るか検討されたい。

(ア) 国民健康保険事業特別会計と意見

国民健康保険税の現年課税分は、予算現額2億6千723万2千円、調定額2億7千466万5千円、収入済額1億3千582万3千円、収入未済額1億3千884万2千円となっている。対予算収入率50.8%（49.6%）、対調定収入率55.5%（46.5%）で、いずれも前年同期を上回っている。国民健康保険税全体の対調定収入率は36.0%（35.6%）で、前年同期を上回っている。

(イ) 一般会計繰入金金の繰入状況と意見

予算現額7千67万8千円（6千625万8千円）、繰入額3千円（3千円）である。今後の繰入れについては、年度末に至るまでの療養給付費等の所要額を勘案し、繰入れされるものと思われる。